

春坡百回忌記念俳書展覧会

著者	藤田 真一
雑誌名	國文學
巻	96
ページ	183-198
発行年	2012-03-01
URL	http://hdl.handle.net/10112/9192

春坡百回忌記念俳書展覧会

藤田真一

下村春坡は大丸下村家の一族にして、俳諧においては、蕪村そして几董の門弟として、夜半亭一門の一角をしめる人物であった。本名、下村孫八郎兼邦、幼名を熊蔵、また法名を正円と称した。大丸創業者下村正啓の次男であった父正周の三男として、寛延三年（一七五〇）五月六日、春坡は伏見に生まれた。一時養子に出されたこともあるが、十五歳で下村家に復し、糸間屋を起こしてあらたに一家をなした。

叔父正巴（初号正白）の手引もあつてか、春坡は春夜楼几董の門に入って俳諧に手を染めるようになり、蕪村の撰集などにしばしば入集した。また別号を遅日亭と号した。蕪村没後は、春夜門にあつて、夜半亭を継いだ几董をよく支えただけでなく、みずからも「壬生ねぶつ」「小鳥」「小艸」「藪かうじ」などといった俳諧撰集を上梓している。春坡が没したのが、文化七年（一八一〇）十月二十二日のことで、享年は六十一だった（以上は、

下村をさむ著「春坡の資料と研究」笠間書院刊による）。

その春坡百回忌を記念して、岡崎の京都図書館（現京都府立図書館）を会場として俳諧の作品・資料の展覧会が催された。その折の目録を入手したので、ここにその全貌を紹介する。

開催期間は、明治四十二年（一九〇九）十月二十三日と二十四日の二日間となっている。百回忌の忌日を見込んで企画されたのはまちがいない。ただ、忌日の十月二十二日が金曜日だったので、翌土曜日と日曜日を展覧会の日程としたものと推測される。会場となった京都図書館は、それまで京都御苑内の一隅を間借りしていたところ、この年春、現在の岡崎の地へ移転が実現した。まさにその秋に、この企画が実行されたことになる。名館長と謳われた、四代目湯浅吉郎館長の時代にあたる。

目録は、両面刷りの一枚物である。表題は、「俳書展覧会列品目録」とあり、すぐ横に「下村春坡百年忌記念開催」と、春坡

の百回忌のことも明記されている。全紙は、縦Ⅱ三九・四cm、横Ⅱ五四・九cmで、両面とも各三段、計六段に区切られている。展示品目の総数は四五一件にのぼる（作品点数はさらにふえる）。全品目が、この両面一枚刷のなかに掲げられている。行頭に○印のあるものは自筆物とおもわれ、一五〇点を数える。それ以外は、版本もしくは写本と考えられる。

これだけの展覧会を実施するには、相当の準備期間を要したことが推察されるとともに、かなりの難儀があったことも想像される。関係者の努力の大きさは計り知れないものがある。それだけに、わずか二日間で終わったのは、いかにも惜しい気がする。

全点にわたって出品者名がしるされている。とくに目立って多く出品しているのは、水落露石・永田有翠・瀧内暁園・山口松香・北村王城といった面々である。そのほか注目すべき出品者としては、下村正太郎・寺村助右衛門・富岡謙三の名があげられる。下村正太郎は、十一代大丸当主正剛で、むろん春坡の縁者である。寺村助右衛門は蕪村の高弟寺村百池の後裔にあたる人物だが、何代目にあたるかは未考。富岡謙三は、文人画家富岡鉄斎の長男である。さらに、出品者ではないが、末尾の賛助に名を連ねているうち、湯浅半月は図書館長湯浅吉郎のこと、

館長みずから積極的な関与があったことがうかがわれる。また俳人中川四明の尽力があったことも知られる。

出品者はすなわち当時の所蔵者であろうから、今に伝わる作品や書目の旧蔵者の情報ともなっている。現存資料を調査比較することによって、モノのながれの一端が見えてくることになる。

このうち一点についてのみ言及する。258「春興」は、現在蕪村編「夜半楽」として知られる一書である。通常題簽を欠いており、その当時は書名が不明だったので、内容から仮に「春興」としたものでろう。この本は、現在柿衛文庫に蔵されている「夜半楽」そのものに該当する。このほか数点については特定できる作品が見えるが、多くは品目・出品者ともいまだ詳細を闇明するに至っていないので、今後の調査・研究をまちたい。

翻訳するにあたって、以下のような原則を適用した。

- 1、清濁や記号などの表記は、できるだけ資料のままとした。
- ただし、旧字体は、通行字体に改めた。

2、明らかな記事の過誤も目立つが、大半の作品について特定して正すことができないので、あえて原文どおりとした。ただし、明らかな誤植で、本稿の翻字ミスかと見まがうものについては、ママと付した。

◎俳書展覧会列品目録

明治四十二年十月廿三日、廿四日

下村春坡百年忌記念開催

京都図書館ニ於テ

(表上段)

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|-----------|--------|------|----------|----|---------|------------------|-------------|------------------|-------|------|-----|
| 1 | 匠材集 | 慶長二年三月上旬 | 横本二冊 | 活字本 | 山口松香氏 | 18 | 俳仙三十六人 | (絵入)本春輯 | 万治二年 | 水落氏 | | | |
| 2 | 発句帳 | 寛永十年活字本大冊 | 四冊 | | 同氏 | 19 | 源氏叢鏡 | 宗賢恒房撰 | 二冊 | 万治三年 | 同氏 | | |
| 3 | 新撰犬筑波集 | 同二十年 | 横本 | 貞徳著 | 水田有翠氏 | 20 | 俳諧作者之名寄 | 種寛作 | 横本 | 寛文年間 | 山口氏 | | |
| 4 | あぶらかす | 同著 | 同年 | 横本 | 山口氏水落露石氏 | 21 | 俳諧尾蠅集 | 定清著 | 寛文三年 | 水落氏 | | | |
| 5 | 淀河 | 同 | | | 同氏 | 22 | 宝蔵 | 山岡元隣作 | 五冊 | 寛文十一年 | 永田氏 | | |
| 6 | ○松水貞徳肖像幅 | 宮川松堅筆 | 武林閑人題 | | 山口氏 | 23 | 俳諧浜萩 | 立圃著 | 同十二年 | 山口氏 | | | |
| 7 | 独吟千句 | 立圃判 | 明暦元年 | 横本 | 水田氏 | 24 | 俳諧埋木 | 李吟撰 | 延宝元年 | 同氏 | | | |
| 8 | 祇園奉納俳諧合 | 李吟判 | 同二年 | 小木五冊 | 同氏 | 25 | ○湖春短冊 | 稲荷まつり去年もこの野よかつら草 | | いろいろにそむる時雨むらさめ青楓 | 辻冬史氏 | | |
| 9 | 毛吹草 | 正保二年 | 横本五冊 | | 山口氏 | 26 | ○宗因短冊 | 都ては苗代見しか秋田米 | | そとゆてよ有馬も猪名の篠粽 | 伊東風洋氏 | | |
| 10 | 歩荒神 | 芸堂撰 | 慶安三年 | 上巻横本 | 山口氏 | 27 | ○重頼短冊 | 絵に似たる顔やへまムシ夜半の月 | | 野宮や木の葉しはふく松の風 | 浜和介氏 | | |
| 11 | 同 | | | 下巻 | 永田氏 | 28 | ○同 | 雪や枝にもつてひらいた花の春 | | 水田元清 | 二冊 | 延宝四年 | 永田氏 |
| 12 | 伊勢山田俳諧集 | 利清等 | 慶安三年 | 二冊 | 同 | 30 | ○似船短尺 | 富永辰寿編 | 初芝居 | 顔見世発句附合 | 横本 | 浜和介氏 | |
| 13 | 俳諧御傘 | | 同四年板 | 合四冊 | 図書館出品 | 31 | ○慶友短尺 | 延宝七年 | 大阪深江屋太郎兵衛出版 | | | | |
| 14 | 守武千句 | | 同五年 | 横本 | 山口氏 | 32 | 俳諧昼網 | 吉原大夫三十一人詠句 | 一卷 | | | | |
| 15 | ○守武短尺幅 | | | | 服部春陽氏 | 33 | 道頓堀花みち | 山くやしら玉姫の立ところ | | | | | |
| 16 | 御傘増注和抄 | 写本 | 五冊 | | 瀨内曉園氏 | 34 | ○未得点 | いもはく先月をうる夕かな | | | | | |
| 17 | 紅梅千句 | 明暦元年 | 種彦旧蔵印捺 | | 永田氏 | 35 | ○宗友短尺 | | | | | | |
| | | | | | | 36 | ○梅翁短尺 | | | | | | |

37	保友短尺	花をふんておなしの雪間哉	浜氏	56	言水短尺	雪を秋に袖みそなむる木梢哉	浜氏
38	玖也短尺	火ともすや南枝ほくちの梅の花	水落氏	57	同 色紙幅	水からしの末はありけり海の音	瀧内氏
39	山平短尺	さ湯涼し杜子美かはきり香煎筒	山口氏	58	同 懐紙幅	待郭公 人はまた朔には寝す郭公	山口氏
40	同	杉やきの聖のはなきねふり哉	浜氏	59	才磨短尺	尼達はこの名を知らじ葱草 <small>アズナギサ</small>	浜氏
41	惟中短尺	鼻のもとにさそはれにけり齋菜	水落氏	60	貞室句幅幅		北村氏
42	投 盃	一札著 延宝八年 横本	山口氏	61	西武短尺幅		広田金兵衛氏
43	名家難波色紙	(絵入) 西鶴自筆 天和二年	小山曉杜氏	62	鬼貫短尺幅	をもしろさ急には見へぬ薄哉	中川四明氏
44	白水郎子紀行	天和二年 大本三冊	水田氏	63	同 幅	行末は誰が肌ふれん紅粉の花	山口氏
45	あまの子のすさひ	惟中著紀行 同年板	同氏	64	同 短尺	夏さくに露をうちきる家居哉	浜氏
46	豊世見久佐	(絵入) 梅水 同年板	水落氏	65	同	月夜よし親のその日にまろかしら	水落氏
47	連 実	賀子(西鶴絵入) 元禄四年仲秋	山口氏	66	鬼貫句選	明和六年 大祓校 二冊	同
48	西鶴短尺	ちるや桜姿に茶屋かあつた物	水落氏	67	鬼貫筈句集	天明三年 二冊 (七車)	同
49	同	庭のにしき浮世は昼のはたる哉	同	68	鬼貫ひとり言	大本 二冊 享保三年	瀧内氏
50	同	何と世に桜も咲す下戸ならば	同	69	俳諧童子教	(絵入) 順水著	水落氏
51	西吟短尺	妹美めを要に讀てあそ婦哉	浜氏			薄葉紙 元禄七年 才磨團水序	
52	西順短尺	蝶鳥を遊びかたきの春野哉	同	70	俳諧百人一句	元禄四年	永田氏
53	園女短尺	今さらに笑か花野のされ頭	水落氏	71	破曉集	百水序 元禄三年	同氏
54	同	足よははみな負こして花の川	打越晴亭氏	72	絵文匣	(絵入) 露沾序 同八年	同氏
55	扇子(金箔)	露沾自画賛 色なから散るや高尾の名残月	瀧内氏	73	青葉山	同六年	同氏
		(裏) 乙由浮草画賛		74	茶弁当	一瓢 同八年 西吟和歌山紀行	水落氏

75 古人短冊帖 宗因前後俳人手鑑版本 一冊

同氏

(表中段)

76 いまみや草 米山 享保七年

山口氏

77 続いまみや草 同 同十三年

水落氏

78 車路集 吐龍編 元禄十二年

山口氏

79 一幅半 岩田涼菟編 元禄十三年 上下

同氏

80 笠の蠅 不角(江ノ島紀行) 同十四年

永田氏

81 芭蕉翁肖像 (立像) 蕪村拝写

下村正太郎氏

西岸寺任口上人を訪ひて

我きぬにふしみのもの半さよ

ほと、きす大竹原をもる月夜

はせを野分して盥に雨を聞夜哉

海くれて鴉の声ほのかに白し

あまかさになれまつしまそかたこゝろ

(立像) 蕪村写

水落氏

人の短をいふことなかれおのれか長を説ことなかれ

もの云へは昏寒し秋の風

○これは五老井か図せる蕉翁の像なり句は

めい月や池をめぐりて終夜

83 同

(坐像) 蕪村写

寺村助右衛門氏

それをくみ右の銘の句に昔かへ侍る

蓬萊に聞はや伊勢の初夜

先たのめ椎の木も有夏木立

名月や池をめぐりて終宵

海くれて鴉の声ほのかにしろし

84 芭蕉翁手簡幅

杉風宛

藤井培屋氏

85 同幅

尚白宛

吉田末広氏

86 同幅

哥笑宛

同氏

87 同幅

言水宛

船橋繁之助氏

88 芭蕉翁略伝

弘化二年

高安月郊氏

89 同翁発句評林

宝曆七年 二冊

永田氏

90 同翁発句集

樂少輔 安永三年

小山氏

91 同句選

元文四年 二冊

同氏

92 かしま紀行

宝曆二年 大一冊

永田氏

93 幻住巻紀

芭蕉真蹟刻 原稿本一冊

小山氏

94 笈日記

支考編 二冊 元禄八年

同氏

95 泊船集

風国輯 同十一年

同氏

96 梧一葉

桃昔著 享保十六年

中野羊我氏

97 芭蕉附合注解抄

二冊

同氏

- 98 芭蕉句解 蓼太著 一冊 宝暦七年 山口氏
- 99 ○其角尺幅 明星や桜さためぬ山かつら 畑莊助氏
- 100 ○其角句英一葉極絵幅 郭公た、ありあけの狐落 岡本氏
- 101 ○其角句 月には見す一万枚を御代の春 其角 船橋氏
- 車錦や今の初花 周東
- 102 ○其角菊画賛幅 菊の香や瓶よりあまる水に迄 広田氏
- 103 ○其角懷紙幅 ほと、きす一二の橋は夜も明けん 下村氏
- 104 冬の日 其角著 貞享元年板 山口氏
- 105 みなし栗 同自筆刻 元和三年 二冊 同氏
- 106 続みなし栗 同 貞享四年 二冊 同氏
- 107 いつを昔 同 元禄三年 同氏
- 108 五元集 同自筆刻 大本四冊 瀧内氏
- 109 続五元集 旨原齋 大三冊 同氏
- 110 花 摘 同 元禄三年 合一冊 永田氏
- 111 枯尾華 同 二冊 和田秋香氏
- 112 波留邊日 乙人 貞享三年 小山氏
- 113 曠野集 荷合 元禄二年 同氏
- 114 飛雪(一) 珍頌 同三年 同氏
- 115 破曉集 順水編 同年 永田氏
- 116 猿蓑集 几兆去來輯 同四年 二冊 和田氏
- 117 わちかひ 松緑独吟 同年 永田氏
- 118 俳諧百人一句 江水 同年 同氏
- 119 ○杉風正月画賛幅 葵祭句幅 山口氏
- 120 ○去來 野坡宇治川画賛幅 同氏
- 121 ○野坡宇治川画賛幅 野坡 同七年 瀧内氏
- 122 すみたはら 李由選 同九年 山口氏
- 123 韻塞 桃隣稿 五冊 同十年 瀧内氏
- 124 むつちとり 許六編 同年 山口氏
- 125 続猿蓑 同十一年 二冊 小山氏
- 126 篇突 去來(篇突難陳) 宝暦十一年 瀧内氏
- 127 湖東問答 卯七 元禄十五年 永田氏
- 128 渡鳥集 轍士著 四冊 同年 岡本氏
- 129 花見車 (當時の俳人を太夫に見立品評せり)
- 130 その浜ゆふ 嵐雪參宮紀行 宝永二年 永田氏
- 種彦書入藏書印捺
- 131 箱柳 朝叟 曲亭馬琴藏書印在 同年 同氏
- 132 麦林集 乙山句集 三冊 山口氏
- 133 笠邊影 自溪 元文二年(李由追善) 山口氏
- 134 謡曲百十番画賛集 李衛編 沽州跋 享保七年 瀧内氏

(絵入) 園女秋色句有

135 本朝八仙集 支考 享保十一年 水田氏

136 諸公画賛 青蓮編(芭蕉以下画像入) 同十九年 瀧内氏

137 俳諧友すゝめ 巽我 寛保三年 二冊 水田氏

138 風雪短尺幅 竹の子や仮寝の床の隅よりも 瀧内氏

139 去来色紙幅 鉢叩こぬ夜となれば臆なり 吉田氏

140 支考書簡幅 山只宛 富岡謙三氏出品

141 許六短尺幅 ほと、きす鳴くや田植の尻の上 吉田米花氏出品

142 越人短尺幅 元朝や花も紅葉もなかりけり 同氏

(表下段)

143 紀伊国屋千山園画賛幅 らむの雨暎傘のわかれかな 岡本氏

144 角上椿画賛幅 菊川のつくや一輪みて椿 山口氏

145 同 画賛 はね廻るしたりやく桜鯛 同氏

146 仏行坊画賛 待事のなきもけふの時雨哉 同氏

147 千那書牘幅 三句入 都不覚 同氏

148 涼菟枯木寒鳥画賛幅 あら寒し阿漕くどなく鳥 藤井氏

149 芭蕉門真蹟 四季発句 板木四枚 野田敬之助氏

150 職人尽誹諧集 前集 容和選 寛延二年 水落氏

151 同 後集 同 同三年 水田氏

152 長柄文台之記 湖十編 同四年 同氏

153 南北新話 涼俗著 延享五年 同氏

154 俳諧三人張 掬裳輯 宝暦二年 同氏

155 紀行俳仙窟 涼俗著 同七年 山口氏

156 自娛文弁 白翁 同九年 永田氏

157 暗夜訓蒙図会 (絵入) 芝立編 同年 同氏

158 李撰文選 吉原の事物を題としたる句 六味桃溪等著 四冊合一 同氏

159 千代尼句集 既白輯 同十四年 二冊 瀧内氏

160 俳諧松の声 (同上后編) 明和八年 二冊 同氏

161 反古文庫 白翁 五冊 永田氏

162 芭蕉真蹟集 桃溪輯 明和元年 水落氏

163 俳諧百一集 康工選 同二年 図書館

164 米仲自筆句稿 (背峨門) 写本 水落氏

165 野さらし紀行 明和五年 山口氏

166 奥の細道 芭蕉自筆刻 榊形本 同七年 小山氏

167 遅八刻三十棒 (俳諧評判記) 同八年 永田氏

168 去来発句集 蝶夢輯 同年 小山氏

169 田舎句合 關更 安永四年 山口氏

170	五子稿	大魯閣 同年刊	水落氏	189	芭蕉袖日記	素綾 文化元年 二冊	小山氏
		(言水去來素堂沾德采山句集)		190	茗荷集	宇橋編 芭蕉遺蹟碑集 文政五年	瀨内氏
171	枯野	(芭蕉忌句集) 米叔 同五年	水田氏	191	蕉翁独吟五哥仙考	文化八年	水落氏
172	芭蕉句選年考	稿本 八冊	瀨内氏	192	野さらし紀行抄	成美著 同十年	山口氏
173	齊非時	(其角一周忌) 秋色編 宝永五年	水田氏	193	羅人集	寛延四年	水落氏
174	惟然句集	士朗序	水落氏	194	意新能日可	(樂夢追悼集)	同氏
175	阿難話	(東花坊追悼集) 正徳元年	水田氏	195	かなしふみ	(同) 寛政八年	同氏
176	五色墨	宗瑞等輯 享保十六年	水落氏	196	雜談集	二冊	小山氏
177	梅翁発句集	素外 天明元年	瀨内氏	197	俳諧耳底集	二冊	水落氏
178	翁反古	大蟻編 同三年	水落氏	198	俳家奇人談	文化十三年 三冊	和田秋若氏
179	杉風句集	魚葉 同五年	同氏	199	続編	天保三年 三冊	同氏
180	蕉翁消息集	蘭 ^ノ 更編 同六年	山口氏	200	俳諧職業尽	茶静選 天保十三年 二冊	山口氏
181	芭蕉門人真蹟集	樂夢輯(義仲寺藏) 寛政元年	水落氏	201	古今発句手鑑	尚古輯 安政四年 三冊	和田氏
182	俳諧古集弁	葛松著(猿蓑炭依講弁) 同四年	同氏	202	拈玉集	(絵入)京名所俳句	瀨内氏
183	芭蕉翁絵詞伝	大冊三(樂夢著狩野至信 ^ノ 画) 同五年	同氏	203	惟然坊句集	魚泊輯 万延元年刊 二冊	
184	同	瓦全編 祐為画 同九年	瀨内氏	204	迦涼面贊幅	秋榮編 文化九年	高安氏
185	職人尽発句合	梵宿校燕村画 安政五年 二冊	水田氏	205	千代面贊幅	ことこの葉は春へのばして柳かな 長き花やかはりく ^ノ に虫の声	伊藤氏
186	鼈頭奥の細道	水落氏	小山氏	206	同 色紙幅	秋の野や花に成る草ならぬ草 百生やつる一すじの心より	瀨内氏
187	青蘿自筆道之記	愚帖 桃青筆影刻 容和 慶応二年	河原徳立氏				山口氏
188	和漢朗詠集						

朝々の露にもはけぬ菊の花

朝與や草臥なをる夜はもたす

207 芭蕉翁真蹟集 大本一冊 明和元年夢太郎

208 古人俳句短尺帖 大本一冊

209 古今短冊集 大本二冊 毛越朝蕪村跋 宝曆

210 佃房蘭竹画賛二幅 蘭の香やうた、口をまたゆする

なよ竹の雨さめ雪とくるひけり

211 也有画賛幅 散た木へもとる一葉かみそさ、ゐ

212 同 幅 鹿も来ぬもみちに角やかたつふり

213 同 句幅 谷といはぬほと人とひぬもくの花

214 抱一磯斎短尺幅 杵音に暮たのもしき紅葉哉 信龍

215 京伝画賛幅 秋野々の秋はいつれそ女郎花 ほうさい

216 栄之画一九賛幅 水や空月の中なる都鳥

217 馬琴自画賛幅 尻もちは子日姿そ大根引

218 同 幅 菊合せ岡十郎を亭主哉

219 木下逸雲画賛幅 すみ田川花のはれたる都鳥

ゆく秋や取落したる月の原

〈裏上段〉

220 抱一扇面幅 夕顔やくみはず斗柄杓井戸 鶯邸

221 涼袋山水画賛 あかくと日はつれなくも秋の風

222 菊舎尼竹画賛 そよきならへた、此君の涼さを

223 土卵画賛 草の戸やはるにも惜しき春の雨

224 如雪画賛幅 おもしろし花はまたわけて啼蛙

225 堀内仙鶴画賛幅 やまと絵のまことすくなき柳哉 化箇斎

226 一具画賛幅 夕月や晶の小家に人の声

227 月溪画蕪村像幅 役士の糞や嵐の花ころも

228 文晁画蕪村像幅 (右模写)

229 月溪猊師画賛幅 雉子うちてもとる家路の日は高し 夜半翁

230 蕪村画賛幅 若竹や橋本の遊女ありやなし

231 蕪村賛呑菊画幅 始にたたれぬ鳴や春の暮 夜半翁

232 蕪村短尺幅 猊の柄にとまりて蝶の工夫哉 呑菊

233 同 短尺三 祇園会や真葛の原の風かをる

234 同 短冊一 岸招く帆はおそろしき若葉哉

235 同 短冊一 月こよひ主の翁まひ出でよ

236 蕪村画賛幅 我頭巾うき世のよまに似すもかな

237 蕪村画賛幅 しら梅や北野の茶屋にすまひ取

238 蕪村画賛幅 捨着て身は世にありのすさひ哉

239 蕪村画賛幅 春雨哉物語り行装と笠

同氏

同氏

北村氏

瀧内氏

岡本氏

瀧内氏

寺村氏

富岡氏

瀧内氏

藤井氏

岡本氏

藤井氏

水落氏

山口氏

山口氏

藤井氏

沢氏

- 238 蕪村手翰幅 春夜 熊三の肖像あり 清水氏
- 239 俳家手簡張交幅 百池月溪田福三家の肖像あり 寺村氏
- 240 附頁手簡卷 中島華鳳氏
- 241 蕪村句稿月溪面幅 服部氏
- 242 蕪村手翰幅 藤井氏
- 243 同幅 (大魯宛) 菊作り汝は菊の奴哉 山口氏
- 244 同幅 広田米花氏
- 245 岸駒夢面蕪村贊幅 原のひまに夢をつみ取るし哉 下村氏
- 246 新花摘版本ノ内一枚 小山氏打越氏
- 247 蕪村句集 前編 半紙二冊 寛政五年大阪垣屋忠兵衛 水落氏
- 248 玉藻集 小一冊 安藤八左衛門梓 安永三年八月刊 瀧内氏
- 249 俳諧玉藻集 小二冊 女流俳句集 蕪村輯 菊舎太兵衛梓 山口氏
- 250 蕪村句集 几童 半紙二冊 天明四年十二月 小山氏和田氏
- 251 蕪村翁文集 半紙二冊 中野氏
- 252 蕪村自筆稿本 秋の風六吟歌仙(十五葉) 水落氏
- 蕪村月溪月笑田福百池几童
- 253 蕪村点 (水口發句合 蕪村点印) 木村氏
- 254 新花摘 大本一冊 天明四年 小山氏山口氏
- 255 俳諧三十六歌仙 大本一冊 寛政十一年刊 京野田治兵衛刊 小山氏
- 256 蕪村三十六歌仙 同 文政二年 江戸須原屋刊 瀧内氏
- 257 新名家短冊帖 枯魚序 色摺模刻 文政十一年夏 山口氏
- (蕪村以下)
- 258 春興 安永六年正月 宇島校 水落氏
- 259 平安廿歌仙 蕪村著 明和六年 同氏
- 260 五車反古 二冊 蕪村著 天明三年 同氏
- 261 常盤香 (蕪村十七回忌追悼集) 同氏
- 262 俳諧桃李 蕪村著 安永九年 同氏
- 263 下村春坡肖像幅 松村景文筆 下村柳外氏
- 264 同幅 短尺幅 かけろふや午時の鐘なる西東 同氏
- 265 同幅 短尺幅 十葉張交せ 同氏
- 266 同幅 短尺幅 花代の月日新らし富士の雪 同氏
- 267 同幅 短尺幅 几童序 遅日亭旧藏品 蕪村以下各名家 同氏
- 268 小島 下村春坡著 東武紀行(几童筆 重厚序) 山口氏
- (春坡の息) 祇園会や五郎か影の夕まくれ 下村氏
- 269 春峰面贊幅 桔梗さく光琳やしきなつかしき 水落氏
- 270 几童秋草面贊幅 生添ふや小松か原の女郎花 山口氏
- 271 几童面贊幅 日影の枯枝に配る落葉哉 山口氏
- 落る葉に摸る、冬の胡蝶哉
- 272 其雪影 二冊 几童著 明和九年 水落氏
- 273 一夜四歌仙 安永二年 同氏山口氏

- 274 統一夜四歌仙 同著 天明七年 同氏水落氏
- 275 統一夜松前集 前後四冊 同氏
- 276 夢の猪名野 (几董追悼集) 享和元年 藤井氏
- 277 新雜談集 二冊 樂夢跋 天明五年 水落氏
- 278 蘆雪鳥居画紫曉贊幅 若草や神もお辰とやはらかに 広田米花氏
- 279 月並拔萃帖 紫曉自筆刻 下村柳外氏
- 280 うき草日記 紫曉著 (西国紀行) 山口氏
- 281 松のそなた 同著 天明八年 同氏
- 282 紫曉短冊 初雪の不二を権野の朝より 同氏
- 283 あけほの草紙 (絵入) 同著 乙卯春興集 瀧内氏
- 284 春泥句集 (召波句集) 二冊 安永四年 同氏水落氏
- 285 若陰句選 写本 (大魯句集) 安永八年 水落氏
- 286 霜月十三日 竹斎輯 (大魯三十三回追悼集) 文化七年 同氏小山氏
- 287 続明烏 同著 二冊 安永五年 水落氏瀧内氏
- 288 写経社集 道立著 同年 水落氏
- 289 初懷紙 同著 四冊 天明二〇三〇六〇七年刊 同氏
- 290 桃のしづく 同著 天明四年 山口氏
- 291 統一夜松 前一冊 後二冊 天明五年 水落氏
- 292 附合手引莖 几董稿 小一冊 天明六年 同氏
- 293 点印論 同 (芭蕉其角風雪の) 同年汲古堂刊行 山口氏
- 294 俳名即鑑 同序 小本一冊 同七年江戸西村源六刊行 水落氏
- 295 井華集 同著 二冊 寛政元年 (原樹) 山口氏
- 296 同 (丹表紙本) 水落氏瀧内氏
- 297 はつ硯 呂始著 (几董版下) 寛政三年 水落氏
- (裏中段)
- 298 鐘筑波 紫曉著 (几董終焉記) 水落氏
- 299 菊の宿 下村正巴序 天明七年刊 同氏
- 300 若陰句選 写本 安永巴亥夜半翁序几董跋あり 同氏
- 301 大魯自画贊幅 稲妻や尋る寺の木の間より 和山氏
- 302 五齡画大魯贊幅 誰か子を太刀よく似合ふ菖蒲の日 瀧内氏
- 303 大魯短尺二 雁かねのわすれて落つる田面哉 水落氏
- 304 同 二 ひかことの昨日のむかし明の春 山口氏
- 305 遊子行 我起て朝良咲ぬ老にけり 水落氏
- 306 つかの間日記 天明八年 水落氏
- 307 同上田無腸手翰 (月溪宛) 寛政三年頃 同氏
- 308 大魯謀 二柳自筆草稿 小山氏
- 309 大紙句選 蕪村序 明和九年 山口氏
- 水落氏山口氏

- 310 大祇句選後編 五雲編 安永六年 和田氏小山氏
- 311 不二巻終焉記 奇淵著 享和三年 水落氏
- 312 その秋 (大祇廿三回忌追悼集) 五雲撰 寛政五年刊 小山氏
- 313 秋のわかれ 同著 同七年 水落氏
- 314 大祇短尺幅 閑怨○飛ぶ蚤あれといはんも独哉 服部氏
- 315 同 手翰幅 閑更 同九年 藤井氏
- 316 種茄子 同 安永⁷⁷ 同氏
- 317 俳諧世説 同輯 享和元年 和田氏
- 318 三草紙 同輯 享和元年 和田氏
- 319 闌更短尺幅 大木を見て戻りけり夏の山 高田植梅氏
- 320 同 短冊 舜やてぬくひ捉し花見連 水落氏
- 321 同人物自画像幅 いかならん祖師の心ぞ鉢叩 沢五車氏
- 322 同 短冊 竈馬なく地を吹にけり夜のかせ 山口氏
- 323 俳 袋 (大江九句集) 二冊 水落氏
- 324 秋の声 (同自筆刻) 同氏
- 325 俳さんげ 同 寛政二年 二冊 同氏
- 326 大江九紅葉自画像 (七十八才) 同氏
- 327 同 幅 同氏
- 328 同 短冊三 さくうちは千代まで菊の後日哉 水落氏
- 329 蝶夢短冊 蚊屋⁷⁸れて誰まつならむよひのほと 藤井氏
- 330 楞良自画像幅 初雁や月の辺りよりあらはる、 瀧内氏
- 331 同 幅 山寺や誰も参らぬにねはん哉 藤井氏
- 332 同 幅 朝良に吹そめてより秋の風 山口氏
- 333 同 幅 なけくと我をせめけり秋の風 北村氏
- 334 八瀬 (楞良句集) 久安編 元治元年 瀧内氏
- 335 楞良文集 雲裡著 天明六年 水落氏和田氏
- 336 楞良集 上 甫尺著 和田氏
- 337 竹 昔 (青羅楞良付合) 李雨編 二冊 天明六年 瀧内氏
- 338 青羅句集 写涼編 寛政九年 二冊 水落氏
- 339 水の月 (青羅終焉記) 永田氏
- 340 新五子稿 (大祇蕪村闌更青羅晚台句集) 小二冊 瀧内氏
- 341 俳諧発句三傑集 寛政十二年 空享編 小山氏
- 342 菴の犬 車蓋編 寛政六年 小二冊 水落氏
- 343 暮雨菴句集 晚台輯 二冊 同氏
- 344 暮柳発句集 写本 同氏
- 345 晚台色紙幅 希因著 明和三年 二冊 瀧内氏
- 346 花滴て薄紅梅となりにけり 中野氏

- 346 暁台短尺二
竹の子やひと夜にかつく八重葎
日暮んとして亦雪の降そむる
山口氏
- 347 翠太短尺
白足袋の泥も美し梅の花
同氏
- 348 ふた夜の月
五雲 寛政元年
水落氏
- 349 山陰集
長齊編 天明七年
山口氏
- 350 ちどりき、
岳輅果兆 享和元年
水落氏
- 351 玉の春
同自筆刻 文化六年
山口氏
- 352 あをたづら
同刻 同九年
水落氏
- 353 そばかり
(果兆句集) 同十四年
同氏
- 354 果兆画賛幅
鴨一羽来てかきまはる麗かな
瀧内氏
- 355 士朗短尺
けふも見へくけり不二の山
同氏
- 356 同
ほと、ぎすおもひ捨てても月夜哉
水落氏
- 357 同
をし鳥の花衣染めよ秋の風
山口氏
- 358 岳輅画賛幅
蚊の声や明て侘しき人の恋
瀧内氏
- 359 同 短尺
水落氏
- 360 定雅短冊
梅の匂ひもとめんとすればうせにけり
山口氏
- 361 同
身ひとつに秋の風秋のくれ(マ)
浜氏
- 362 同
あけひかけも年の海も朝日哉(マ)
水落氏
- 363 同画賛素絢画
あきのくれあのものとうらみけり
藤井氏
- 364 同 幅
月よ花よ我に二尺の笠の宿
外村氏
- 365 月居画賛幅
みてのはるよし野の里の花の底
瀧内氏
- 366 士朗桂五岳輅合作幅
春原やわか寝処は江に近し
岳輅
- 菜の莖や二日つまねは花に咲
桂五
- 五月雨かやめは屋根ほる鳥哉
士朗
- 367 卓池山水画賛幅
植□□もなくさむ空をほと、きす
瀧内氏
- 368 た、ひ越
嘯山著(有馬紀行) 天明八年
山口氏
- 369 はまえんさ
同(四国紀行) 同元年
同氏
- 370 独 喰
同 寛政□ 小三冊
同氏
- 371 菴亭句集
同 享和元年 五冊
瀧内氏
- 372 菴亭画讃集
同(彩色絵入) 文化九年
山口氏
- 373 花むしろ
(修古追悼集) 天明元年
水落氏
- 374 除元集
末角 同二年
北村氏
- (裏下段)
- 375 蕪葉集
(也有句集) 三冊 明和四年
水落氏
- 376 まにふんて
六林自筆稿
山口氏
- 377 秋香亭句集
傘露 安永三年 二冊
永田氏
- 378 風月集
(旨原句集) 同五年 六冊
水落氏
- 379 はるのあけほの
同九年
北村氏
- 380 椎本松花俳諧集
同十年
永田氏

381	也哉抄	秋成著 天明元年 <small>ヲ</small>	山口氏	401	俳諧袋表紙	白雄撰 二冊 安永二年	水落氏
382	吐月句集	同二年 二冊	永田氏	402	俳諧新選	大猷嘯山編 同年 小二冊	小山氏
383	燭のなごり	同四年	同氏	403	十三興	麥水 同六年 二冊	瀧内氏
384	から檜葉	同年 二冊	水落氏	404	俳諧古選	嘯山著 宝曆十三年 小二冊	小山氏
385	俳諧発句愚吟集	可行稿写本 同五年	和田氏	405	小鍋立	車蓋編 同五年	山口氏
386	椿花文集	(定雅文句集) 同七年	小山氏	406	白雄句集	頑布編 同年 二冊	瀧内氏
387	更 <small>マ</small> 登句集	蓼太校 同年	水落氏	407	松葉塚	木架編 同年	和田氏
388	遊子行	同八年	同氏	408	新類題発句集	蝶夢編 同年 五冊	小山氏
389	つかの間	几 <small>ノ</small> 十著 同年	同氏	409	俳諧名所発句集	素外編 同九年 二冊	和田氏
390	阿羅屋	物赤撰 寛政元年	北村氏	410	蘆間小屋	一草撰 文化二年	瀧内氏
391	はりまあんこ	瓜坊撰 同年	水落氏	411	在原文庫	買山著 同五年 五冊	水落氏
392	○道彦貧素絢画幅		山口氏	412	名月帖	竹斎編 同七年	同氏
393	鶴芝集	(朱樹東方紀行) 道彦撰 享和元年	瀧内氏	413	常盤樹	武西厓編 同十年	北村氏
394	むまの上	同著 自筆刻紀行 享和三年	山口氏	414	叩齋集	逸人輯 同年	同氏
395	桜 <small>ヲ</small> 翠	定雅輯 寛政三年	小山氏	415	水荃集	芸台輯 同十二年	和田氏
396	真葛	(春懐紙) 同 文政四年	同氏	416	成美家集	文化十三年 二冊	水落氏
397	露一つ	(秋懐紙) 同	同氏	417	随齋諧話	成美著 文政二年 二冊	同氏
398	小坊主	写本 月居	水落氏	418	莊榜菴集	同年	瀧内氏
399	月居文稿	写本 幸島自筆三冊	山口氏	419	四山藁	同著 同四年 二冊	水落氏
400	つ遊の古道	月居著 天明八年	同氏	420	素藥句集	(自画) 同六年	山口氏

421	翰苑奇品	同十年	瀧内氏	441	九老画譜	(俳句入) 寛政七年 二册	同氏
422	女百人一首	鶯鷓女編 天保三年	水落氏	442	俳諧鏡之花	(蓼太句画賛集)	同氏
423	おらか春	明治十一年刊(一茶遺稿)	小山氏	443	存義点発句帖		木村氏
424	一茶翁俳諧文集	嘉永五年	萬安氏	444	可翠日記	自筆 三册	水落氏
425	酒滴余談	素外著 同六年 二册	水落氏	445	乙御前	(移竹句集)	同氏
426	しかた俳諧	粹川士著 天明三年 小本	山口氏	446	露川貫	写本	図書館
427	酒落文台	同 小本	同氏	447	同卷	伝自筆	北村氏
428	俳諧通言	並木五瓶著 文化三年 小本	同氏	448	菊の宿	几童自筆刻 天明七年	水落氏
429	雅人深致	蕉雨朝(印譜) 寛政九年	同氏	449	句双紙	重厚著 二册	同氏
430	俳家年表	五世窓和輯 写本	富岡氏	450	統姑射文庫	臥央著 寛政十年 五册	瀧内氏
431	俳得目錄集	(写追加)	小山氏	451	○蕪村以下名家短尺張交屏風一双		同氏藏
432	和歌葉集	各肖像自筆入 漢平編 享和三年	山口氏				發起 山口松香
433	万家人名録	長齋著 文化十年 五册	水落氏				同 北村王城
434	同後編	同 文政四年	同氏				同 小山曉杜
435	俳諧大系図	生川春明著 天保九年 二册	山口氏				賛助 水落露石
436	姑射文庫	(画賛集) 明和五年 三册	瀧内氏				同 湯浅半月
437	新姑射文庫	子洛編 文政元年 二册	同氏				同 中川四明
438	発句下画	志藤著 文化七年(南岳絵入)	山口氏				
439	鶴声帖	其成輯 文政十一年	瀧内氏				
440	俳諧百画賛	風俗編 世達画 文化十三年	同氏				

(ふじた しんいち/本学教授)